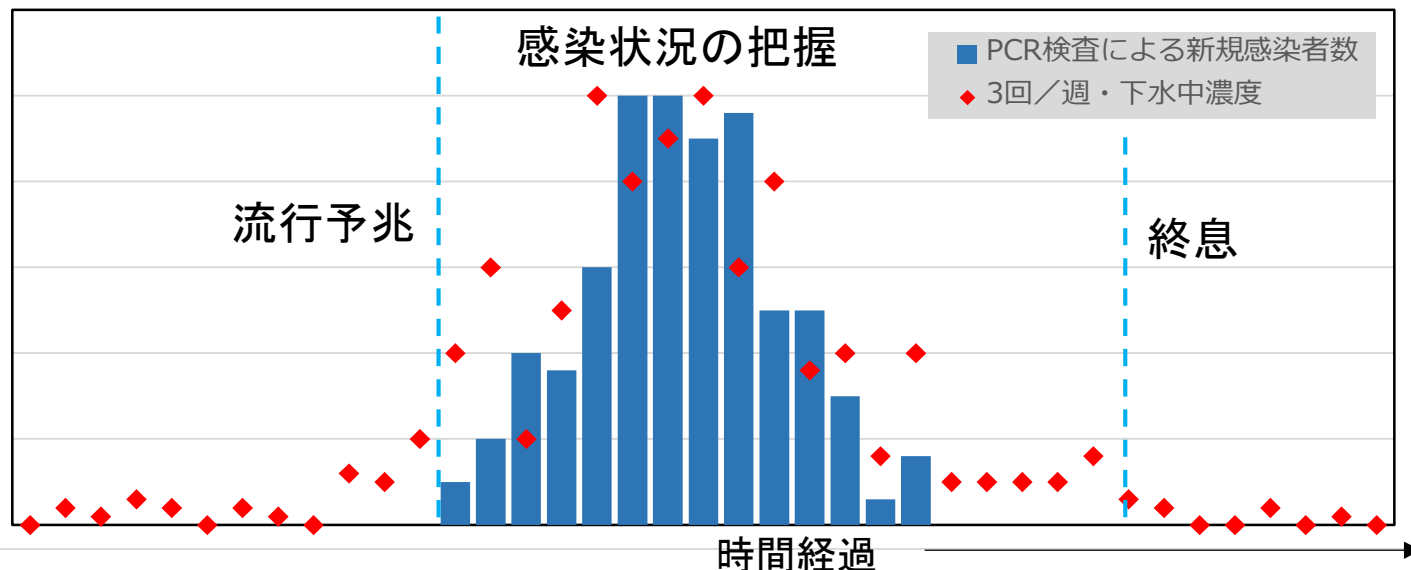


調査の目的・概要

- 市中感染状況とウイルス濃度の関係を把握することを目的として、週1回程度のモニタリングに加えて、感染者数の増加が確認された場合に備えて、短期的に採水分析頻度を高め、データの収集を行う。

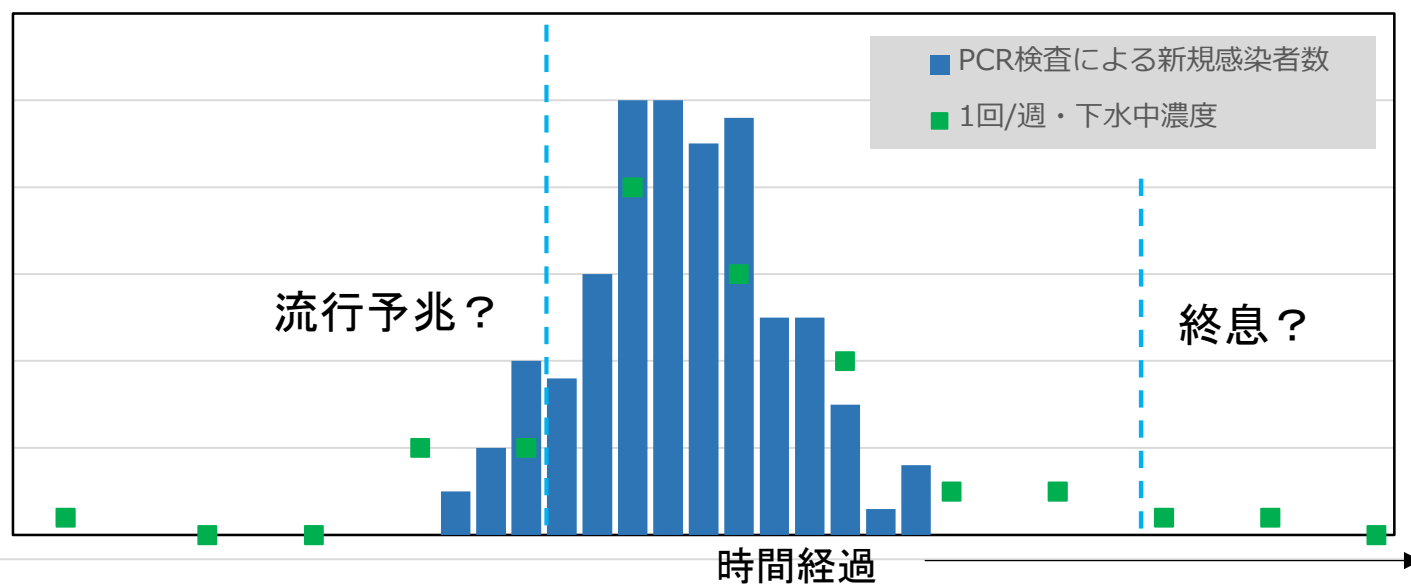
令和3年度調査検討計画 短期集中調査について

短期集中調査の効果



測定頻度・高

- 流行期前の立ち上がりが観測でき、流行予兆の一助となる。
- 終息についても判定しやすい
- 感染状況の把握に活用



測定頻度・低

- 流行期と同時に立ち上がりが観測され、関係が分かりにくい可能性
- 終息の判断を見逃す可能性

令和3年度調査検討計画 短期集中調査について

具体的な方法

- ① 流入水のサンプリング頻度を高め（処理場の採水頻度に従う）、分析はせずに冷凍保存する。
- ② 当該都市での流行が発生した場合、冷凍保存したサンプルの流行発生1週間前のサンプルから解凍し、分析を行う。
- ③ 一旦流行が終息した後1週間程度サンプリングを行い分析する。
（流行期間が長い場合、流行期は測定頻度を下げることとも考慮）
- ④ 当該都市の感染者数と下水中の濃度等との関係を検討する。

